

【富山市】 校務DX計画

1 教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目

- (1) 「GIGAスクール構想の下での校務DXについて」より
 - ①汎用クラウドツールの積極的な活用
 - ②校務支援システムのクラウド化と教職員用端末の一台化
 - ③校務系・学習系システムの円滑な接続
 - ④各種データをダッシュボード機能により統合的に可視化
 - ⑤学校の業務に関する主要なシステムのクラウド化
- (2) 「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策（提言）」より
 - ⑥汎用クラウドツールを活用した教職員間での情報交換の励行
 - ⑦会議資料のペーパーレス化
 - ⑧民間企業向けクラウドツールの転用による校務処理の負担軽減
 - ⑨スケジュール管理のオンライン化
 - ⑩学校と保護者等間の連絡手段の原則デジタル化
- (3) 「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」において、中核市平均と比較し、さらに取組が必要であると判断される項目
 - ⑪児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末の家庭での利用
 - ⑫職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化
 - ⑬校内外の行事日程、施設や特別教室の利用予約等のクラウドサービスを使った共有
 - ⑭授業研究会や校内研修等のハイブリッド（対面・オンライン）での実施
 - ⑮ガイドラインに基づいた生成AIの校務での活用

2 項目と本市の現状について

上記①から⑮において、①⑥⑩は、現状、ほぼ達成されていると考えられる項目であり、②③は、教育ネットワーク更改により、改善が見込まれる項目である。それ以外の項目については、解決の方向性を次に示す。

3 障害となる課題解決の方向性

- (1)④⑤については、情報収集と新たなシステムの導入を検討する。
- (2)⑧⑨⑪⑬⑭⑮については、業務方法の変更に対する支援を行う。
- (3)⑦⑫については、他課と協議の上、委員会全体としてペーパーレス化を推進する。